

各 位

宮城県卓球協会
会長 高橋 仁
(公印省略)

第8回全日本ラージボール卓球選手権大会宮城県予選会について(案内)
第38回全国ラージボール卓球大会宮城県予選会について(案内)

1. 名 称 第8回全日本ラージボール卓球選手権大会宮城県予選会
第38回全国ラージボール卓球大会宮城県予選会
2. 日 時 令和7年4月12日(土) 8時:開場 9時:開会式
3. 会 場 大河原町総合体育館(ヒルズはねっこアリーナ)
4. 主 催 宮城県卓球協会
5. 主 管 宮城県卓球協会マスタース・ラージボール委員会 大河原町卓球協会
6. 後 援 日本卓球株式会社
7. 競技種目 (共通事項)
 - (1)一般男子シングルス(年齢制限なし)
 - (2)男子シングルス40(昭和61年4月1日以前に生まれた者)40歳以上
 - (3)男子シングルス50(昭和51年4月1日以前に生まれた者)50歳以上
 - (4)男子シングルス60(昭和41年4月1日以前に生まれた者)60歳以上
 - (5)男子シングルス65(昭和36年4月1日以前に生まれた者)65歳以上
 - (6)男子シングルス70(昭和31年4月1日以前に生まれた者)70歳以上
 - (7)男子シングルス75(昭和26年4月1日以前に生まれた者)75歳以上
 - (8)男子シングルス80(昭和21年4月1日以前に生まれた者)80歳以上
 - (9)男子シングルス85(昭和16年4月1日以前に生まれた者)85歳以上
 - ※本大会出場数:(1)~(9)の9種目で9名
 - (10)一般女子シングルス(年齢制限なし)
 - (11)女子シングルス40(昭和61年4月1日以前に生まれた者)40歳以上
 - (12)女子シングルス50(昭和51年4月1日以前に生まれた者)50歳以上
 - (13)女子シングルス60(昭和41年4月1日以前に生まれた者)60歳以上
 - (14)女子シングルス65(昭和36年4月1日以前に生まれた者)65歳以上
 - (15)女子シングルス70(昭和31年4月1日以前に生まれた者)70歳以上
 - (16)女子シングルス75(昭和26年4月1日以前に生まれた者)75歳以上
 - (17)女子シングルス80(昭和21年4月1日以前に生まれた者)80歳以上
 - (18)女子シングルス85(昭和16年4月1日以前に生まれた者)85歳以上
 - ※本大会出場数:(10)~(18)の9種目で9名
 - (19)一般混合ダブルス(年齢制限なし)
 - (20)混合ダブルス80(2名の合計年齢80歳以上)
 - (21)混合ダブルス100(2名の合計年齢100歳以上)
 - (22)混合ダブルス120(2名の合計年齢120歳以上)
 - (23)混合ダブルス130(2名の合計年齢130歳以上)
 - (24)混合ダブルス140(2名の合計年齢140歳以上)
 - (25)混合ダブルス150(2名の合計年齢150歳以上)
 - (26)混合ダブルス160(2名の合計年齢160歳以上)
 - ※本大会出場数:(19)~(26)の8種目で8組
 - ※年齢は令和8年4月1日までに該当年齢に達している者

8. 競技方法 全試合、11ポイント、3ゲームズマッチのリーグ戦で行う。
ただし、極端に申込人数が多い種目はトーナメント戦で行なう。
また、参加者が本大会出場数に満たない場合は予選会を行わない場合があるが、この時の種目毎に複数申込の場合は過去の成績を基に推薦順位を決定する。

9. 競技ルール ①現行のラージボール卓球ルール「競技大会ルール」を適用する。

(1)競技方法 10:10以降は、2ポイント差とする。

(2)サービス2～3秒静止する。16cm以上あげる。

②表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。

③2025年度（公財）日本卓球協会指定のゼッケンを使用すること。

10. 使用球 公認球Nittakuラージ3スタークリーン

11. 本大会出場数（共通事項）

男女シングルス40以上、混合ダブルス80以上の各種目とも基本枠を1名（組）とし、申込みが無い種目の分の枠は、残り枠として振り分ける。残り枠は申込人数（組）の多い種目に振り分けるが、申込人数（組）が同数の場合は年齢の上の種目に割り当てる。

一般男女シングルス、一般混合ダブルスは県内のラージボール卓球選手活動から鑑みて出場枠を1名（組）とする。但し、全種目の申込み合計が宮城県の本大会出場数に満たない場合はこの限りではない。

詳細は大会プログラムに記載いたします。

12. 参加資格 ①宮城県に在住または勤務している者で2025年度日本卓球協会選手登録者であり、第8回全日本ラージボール選手権大会又は第38回全国ラージボール卓球大会出場希望者であること。

注：登録の手続きは3月21日までに完了してください。

本大会はどちらか一方にしか参加することは出来ませんので、宮城県予選会もどちらか一方のみの参加となります。

②シングルスと混合ダブルスの両種目に参加することが出来る。

③同一種目内において、一般と年代別を重複して参加することは出来ない。

④混合ダブルスのパートナーは、同一加盟団体の者に限る（宮城県卓登録者同士）。

⑤第7回全日本ラージボール卓球選手権大会のシングルス8位、混合ダブルス4位までに入った選手は第38回全国ラージボール卓球大会には出場できません。

但し、混合ダブルス4位までに入りペア解消時は第38回全国ラージボール卓球大会には出場可能です。

13. 第8回全日本ラージボール卓球選手権大会無条件参加選手

①第7回全日本ラージボール卓球選手権大会のシングルス8位、混合ダブルス4位までに入った選手に第8回全日本ラージボール選手権大会への無条件参加が適用され、当該年齢種目または下の年代の1つに出場できるものとする。

②無条件参加選手で本大会に参加する選手は、予選会申込書の備考欄に「無条件」と記述し、予選会の参加料はありませんが本大会の参加料を納めてください。

③混合ダブルスのペアを解消した場合は、無条件出場出来ません。

<該当選手名>

※参考資料添付〔第7回全日本ラージボール卓球選手権大会 ランキング一覧〕

五十嵐寛之（さくらクラブ） 男子シングルス40第6位

森 正樹（ゼフィルス大河原）男子シングルス50第3位

齋藤富美子（ゼフィルス大河原）女子シングルス60優勝

鈴木邦子（ゼフィルス大河原）女子シングルス65第8位

若松和子（宮城SPS） 女子シングルス80第6位

森 正樹・齋藤富美子（ゼフィルス大河原）混合ダブルス100準優勝

村上 力・村上富貴（桔梗苦羅舞）混合ダブルス120準優勝

熊坂 進・若松和子（宮城SPS）混合ダブルス160第4位

14. 参加料 ①予選会参加料
 シングルス種目 1人 2,000円
 混合ダブルス種目 1組 3,000円
 ②本大会参加料 シングルス1人 3,000円 混合ダブルス1組4,000円
 ※本大会出場権を得た選手は予選会当日、本大会の申込手続きを行なうこと。
15. 参加料 参加料は申込み〆切日までに下記に振込み下さい。
 納入方法 ゆうちょ銀行振替口座 口座名：宮城県卓球協会 口座番号：02270-3-40587
 注意：通信欄に必ず大会名、チーム名、種目名、選手名を記入してください。
 ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口、払込み機能付きのゆうちょ銀行のATM
 からお振り込みください。他の金融機関からの振り込みは出来ません。
 手数料は各自ご負担ください。
16. 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し下記宛に送付すること。
 〒989-1213 柴田郡大河原町字住吉町4-1
 宮城県卓球協会マスタース・ラージボール委員会 半澤 伝 宛
 E-mail：miya-han@kce.biglobe.ne.jp
 E-mailの場合は申込書Excel又はPDFファイルにしたものを添付して下さい(写真の添付はNG)。
 また、「申込受領しました」の返信を致しますので、申込締切日までに必ず確認して下さい。参加申込用紙の控え(コピー)は必ず保管しておいて下さい。
17. 申込締切 令和7年3月20日(木) 18:00(必着)
18. 本大会 ①第38回全国ラージボール卓球大会
 期日：令和7年6月27日(金)～29日(日)
 会場：グリーンアリーナ神戸
 使用球：未定
 ②第8回全日本ラージボール卓球選手権大会
 期日：令和7年7月11日(金)～13日(日)
 会場：あなぶきアリーナ(香川県立アリーナ)
 使用球：未定
 ※本大会の組合せ、競技日程及び諸連絡は2週間前頃に日本卓球協会ホームページにて掲載される予定ですので必ず確認してください。
19. 全国ラージボール卓球大会の10回表彰について
 全国ラージボール卓球大会の出場回数はトータルでカウントします。本大会出場権を得た選手が10回目の出場となる場合、表彰の対象となりますので申告をしてください。
 一度表彰された方は該当いたしません。
 又、10回以上参加してこれまで未表彰の場合も対象となります。
20. 備考 ①参加資格に疑義がある場合は、事前にお問い合わせ下さい。
 ②申込締切日以降の選手変更は出来ません。また、棄権の際の参加料の返金も出来ません。但し、混合ダブルスにおいて健康上の理由により合計年齢枠内であれば、一方の選手のみの変更を認めます。この場合は必ず事前連絡をすること。
 ③競技中、万一事故のあった場合、主催者側は責任を負いません。
 公益財団法人日本卓球協会「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 ④やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、日本卓球協会に宮城県卓球協会名の書面で連絡することになっていきますので、わかり次第申込方法宛に郵送又はEメールして下さい。この手続き無しで無断棄権の場合は、以後の県外大会の派遣を禁止することがあります。
 ⑤本大会の使用球は2024年度から1大会1球制(1社制)が導入されました。

☆ この大会に関する問い合わせについて ☆
メッセージ 090-8921-4962
E-mail : miya-han@kce.biglobe.ne.jp
宮城県卓球協会マスタース・ラージボール委員長 半澤 伝